

研究テーマ：高齢化時代における住民参画による地域づくりシステムの形成に関する研究	
研究代表者（職氏名）：講師 水馬 朋子	所属：保健福祉学部看護学科
共同研究者（職氏名）：尾三地域保健所 主任栄養指導専門員 木村要子，保健課長 栗原光司 世羅町 主幹 岩崎智子	

1 研究の目的

市町村合併による新しいまちにおいて、子どもから高齢者まで住民一人ひとりが参画した健康増進計画の策定活動を通して、その地域の特性に応じて、住民が主体的な健康づくりへの活動ができる条件整備や行政支援システムを形成することを目的とする。

2 結果

(1) 平成 18 年度健康増進計画策定経過

事務局の打合せ⇒活動方法の研修（町関係職員）⇒ワークショップ（住民・町職員）⇒健康意識調査実施（住民 1,500 人無作為抽出）⇒健康増進計画作成への提案資料作成（住民・町職員）

(2) ワークショップ実施後の住民に対するグループインタビュー結果

- ア 住民の声を率直に提案できる場：他人の意見を否定しないルールがあり、意見が受け入れられた。
- イ 自分の身近な課題の協議：自分たちの日常生活で思っていることをとことん話せた。
- ウ 実践への移行：住民と行政職員が初めて同じテーブルで話し合い、共通理解を深めたので、次の行動に発展できそうである。

(3) 町職員へのインタビュー結果

- ア 住民の考え方を理解する場
- イ 行政手法の振り返りの場：行政のやっていることが、住民に伝わっていないことがわかった。
- ウ 財政上の問題を考えると、住民としての立場と行政職員としての立場として考えるのが難しかった。

3 考察

住民と行政職員との協働で行うワークショップを運営する過程並びに前年度の研究成果を踏まえて、住民が主体的に参画できる活動方法を検討し、支援条件を明らかにした（表 1）。

表 1 住民の主体的活動を推進するための支援条件

支援ポイント		活動方法の提示	助言	支持	見守り
計画策定過程の手順		<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的 ● 簡潔 ● イメージしやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 方向性の提示 ● 肯定的支持 ● 実生活体験 	<ul style="list-style-type: none"> ● グループ員の協議を発展 ● 肯定的支持 ● 自分の考え 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の生き方の発見と支援 ● 社会資源の活用と開発
準備期	ファシリテータの育成 コミュニティとの調整	参加者はスタッフから説明を受けて、言われるまま行動する。	参加者が基本的活動方法の確認をしながら進める。	参加者同士の意見に肯定的支持がなされ、発言が活発になる。	住民が主体的に行動できるための条件を協働で整備する。
活動方針検討期	実現すべき理想の姿の仮説設定	まちのあるべき姿を描く意義を理解する。	リーダー的な人のみ、まちのあるべき姿を描く。	参加者の半数以上が、まちのあるべき姿を描く。	参加者全員が、まちのあるべき姿を描く。
	理想実現に向けた条件や行動の検討	問題点や現実の行動が優先になる。	リーダー的な人のみ条件や行動の提案できる。	参加者の半数以上が条件や行動の提案できる。	参加者全員が、条件や行動の提案できる。
	行動や活動を中心とした検討	各関係機関の活動内容の情報収集・探索	関係機関の活動内容の情報提供、情報収集への連絡調整	現地調査の実施への条件整備・調整	必要な社会資源の検討・開発 実践活動への発展
	計画書、報告書の作成	情報の収集	掲載の必要な項目の選定	住民や行政・関係機関の役割を具体的に表示	住民や行政・関係機関の発展的 活動段階を提示
活動期	条件充足に向けた行動の実施	メンバーの目的の再確認及び意識統一	関係機関への連絡調整、活動始動に必要時助言	活動実践に当たり、必要時連携・助言	活動の課題の確認、必要時連携・助言
評価・再検討期	理想実現や条件充足の状況把握 現状把握 展開方法・条件・目標の再検討 新たな行動の展開	計画策定中のアンケート調査⇒計画策定後の事後調査 日常活動から情報収集 住民の地域活動課題整理を促す	調査結果を住民と協働で検討 住民が主体的に活動の課題抽出 対策の検討に関して適宜助言	住民の主体的活動への適宜協力 地域の関係機関との調整	住民の主体的活動への適宜連携・助言 まちの健康課題の点検・解決の場の拡大

4 まとめ

住民と行政が協働して健康なまちづくりを進めるには、住民の自律性をエンパワーメントしていく必要がある。このためには、行政機関側の住民と協働する意義のさらなる理解と手法の改革が求められる。

今後 S 町における健康増進計画の策定段階において、住民と行政が協働する条件整備を試行していく。

5 参考文献

- 1) 岩永俊博：地域づくり型保健活動の考え方と進め方，医学書院，2003